

会 議 録					
行田市教育委員会 令和4年第9回 8月定例会					
招集年月日	令和4年8月18日(木)		開会場所	行田市産業文化会館 2A会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会 8月18日(木) 午後 2時00分		教育長 齋藤 操		
	閉会 8月18日(木) 午後 3時00分		教育長 齋藤 操		
教育長	齋藤 操	教育長職務代理者	鹿山高彦	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	齋藤 操				
2	鹿山高彦				
3	飯塚千十世				
4	大澤恵子				
5	大竹洋平				
議 事 参 与 者			書 記		
教育部長	小池 義憲	書記長	長島 浩司		
教育部次長	福原 智	書記次長	横田 嘉織		
教育部次長		書記	久積 史明		
兼教育指導課長	石崎 昌稔				
教育総務課長	長島 浩司				
学校給食センター所長	小林 誠				
生涯学習スポーツ課長	野口 啓司				
文化財保護課長	中島 洋一				
教育文化センター所長					
兼中央公民館長	新井 大				
図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長	柿沼 誠				
郷土博物館長	鈴木紀三雄				
教育部副参事	嶋村 理彦				
教育部副参事	岡部 将弘				
教育支援センター所長	田口 範幸				

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況		<p>市民憲章唱和（省略）</p> <p>教育長 本日の会議日程は議案 9 件である。日程第 1・議案第 7 3 号及び日程第 5・議案第 7 7 号は、議会案件であることから会議は非公開、議事録については議会終了後となるので公開とし、その他の案件は公開としてよろしいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長 日程に先立ち、7 月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長 7 月定例会会議録報告</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p>	
	<p>議案第 7 4 号 令和 4 年度行田市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書（令和 3 年度事業対象）について</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長 この報告書は、「1 はじめに」から「4 総評」までで構成されており、「1 はじめに」は、点検評価の結果について報告書を作成し、それを公表する旨を記載している。 「2 点検評価の対象及び方法」で対象としているのは行田市教育大綱に位置付けている 6 つの柱に沿った教育行政方針である教育行政重点施策に掲げる主要事業である。 点検評価の方法については、令和 3 年度に実施した事務事業のうち、新規事業や見直しを図ったもの、あるいは毎年度継続して実施している事業のうち各所管において重要視している 2 7 事業に絞り「事務の点検評価シート」を作成し、必要性、有</p>	

		<p>効性、効率性、達成度、方向性の5項目の視点で評価している。評価対象期間は、令和3年4月から令和4年3月までである。</p> <p>また、この点検評価を実施するにあたり、7月6日に、教育に関し学識経験を有する公立学校元校長の今銚氏及び元市職員の高橋氏からご意見・ご提言をいただいた。</p> <p>「3 点検評価の結果」は、評価項目の集計を、グラフで表したものと、その説明として、所管別に評価項目の内訳を掲載したものである。</p> <p>4 ページからが各事務事業の状況で、各所管が実施した事務事業ごとにまとめたものとなっている。上段に事務事業の概要、下段に決算額や事業の成果、評価、有識者の意見及び課題や今後の方向性を記載している。</p> <p>2 7 事業の説明は省略し、この後、事前にいただいた委員の意見の紹介や質問に回答する形で説明する。</p> <p>(議案第74号関係資料の説明)</p> <p>・「全般」 (質問)</p> <p>昨年と比べ、点検評価の事業数が大幅に減っているがその理由は。</p> <p>「食育」が点検評価の対象から外れたのが残念である。「心身ともに健康な国民の育成」と教育基本法の教育の目的にあるがどう考えているか。</p> <p>(回答) 教育総務課</p> <p>令和3年度行田市教育行政重点施策を策定するにあたり、施策を見直し、最重点施策、重点施策の位置づけと実施事業の大幅な整理を行った。</p> <p>なお、食育など、今回点検評価対象とはしなかった重点施策についても引き続き、積極的に推進していく。</p> <p>・「小・中一貫教育事業の推進」 (質問)</p> <p>「9年間の学びと育ちの連続性を重視した小中一貫教育を推進」とあるが、今後児童生徒数も減少し、義務教育学校も廃案となり、将来的にどのように推進していくのか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>中学校区を生かした小中一貫教育の推進は中1ギャップの解消や学校間(児童生徒・教職員)の連携など一定の効果を示</p>
--	--	--

		<p>している。今後も、児童生徒の教育活動を第一に考え、児童生徒数の推移を視野に入れ、計画的に推進していく予定である。</p> <p>(質問)</p> <p>小中間で児童生徒の情報を共有していると思うが、退職した先生から情報がほしい場合も連絡は取れるのか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>児童生徒の情報共有については、小中学校間で十分されていると認識している。また、必要な情報については教育指導課を通して情報提供を行う。</p> <p>(質問)</p> <p>「心の教育」とは、どういう内容なのか。「中1ギャップ」とはいかなるものか。専門の先生がいるのか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>「中1ギャップ」とは中学校への進学で新しい環境や学習に適応できず不登校等の問題行動につながることを意味する。また、「心の教育」については、道徳を始め、体験活動や読書活動の推進、いじめ防止に向けた取組や人権教育があげられる。教育相談の専門の先生については、スクール・カウンセラーや中学校においては、さわやか相談員がいる。</p> <p>(質問)</p> <p>中1ギャップ等、心の教育を重視した小中一貫校を進めるとともに、効果的で特色のある指導計画の作成を進めるとあるが、昨年の指導の成果はどのようなか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>不登校生徒数の増加が本市でも課題となっており、コロナ禍の様々な要因で昨年度は増加傾向にある。今年度、不登校問題の解消を目指し各学校とも取り組んでいるところである。</p> <p>(質問)</p> <p>効果的で特色のある指導計画とあるが、具体的にどのような特色があげられるか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>例えば、教育活動に地域の教育資源や人材を活用することで、地域のよさを知り、地域への誇りと郷土愛を育成できるなどの内容があげられる。</p> <p>・「学力向上支援教員の配置」</p>
--	--	--

		<p>(質問)</p> <p>全国学力・学習状況調査結果で県平均を上回ることも大切だと思うが、子供たちの生きる力の多様性のため、他の教科（特に英語や理科の実験）にも拡大できないか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>現在、英語の学力向上支援員も中学校に数名配置している。今後は、各学校の希望や状況に応じて、他の教科の拡大に向け研究していく。</p> <p>(質問)</p> <p>学力が何故必要なのか、など目的を伝えることはあるのか。</p> <p>私が児童のとき、ただ目的もなくやっていたのでやる気のない時代もあったため、目的が明確になると、やる気も高まるのではないかと思う。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>学習の目的や勉強や学力の必要性については、各学年の授業の始まりの段階やオリエンテーション等を通して日頃から子供たちに説明していると認識している。</p> <p>(質問)</p> <p>事業の推移の成果指標が空欄となっているが、なぜか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>作成時には、全国学力・学習状況調査の結果が公表されていなかったため、空欄とした。結果は小中学校とも、国語、算数（数学Ⅰ）において、県平均を上回ることができなかった。</p> <p>・「教員の教育力の向上を図る教育研修センター研修事業の充実」</p> <p>(質問)</p> <p>令和4年度研修の一部は教育指導課に移行するので、教育指導課と連携した研修事業の再構築を図るとあるが、今現在進められていることはどのような事業なのか。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>令和4年度教育支援センターの研修事業としては、特別支援学級担任研修会やことばの検査実技研修会、生徒指導・教育相談研修会など教育支援事業に関連する研修会、市教育研究会と共催の各種主任研修会を実施している。管理職研修会や若手教員を対象とした研修会については、教育指導課が主管し、教育支援センター指導主事も参画している。</p> <p>(質問)</p>
--	--	--

		<p>「指導力」の有無には、どのような項目があるか。どのようなものが良い指導力なのかという指針はあるのか。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>若手教員を対象とした授業力向上研修では、「学級に学習規律を浸透させている」、「本時の学習目標を明確にして学習課題を設定している」、「体験的・問題解決的な学習活動を設定している」、「主体的・対話的な学びのための学習形態を設定している」、「家庭で復習できるポイントを示したり、今後の学習の見通しを持たせたりしている」など、20の方策を授業力向上の指針として示している。</p> <p>(質問)</p> <p>若手教員の指導力向上の有無は分かるのか。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>授業力向上研修では、若手教員それぞれがチャレンジテーマを設定し、先に示した20の方策から5項目を選んで2学期の9月と3学期の2月に自己評価し、授業力の向上を確認している。また自己評価の前には研究授業を参観し、担当指導主事が指導助言を行っている。</p> <p>(質問)</p> <p>必要性があり、有効性が高く、低減する余地はないのに、方向性はなぜ縮小なのか。</p> <p>また、オンライン研修は実施したか。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>令和4年度の機構改革に伴い、教育支援センター主催の研修事業は減少となる。なお、その分は教育指導課が実施するので、市教育委員会としての教員研修は減らない。</p> <p>オンライン研修については、「GIGAスクール推進リーダー向けオンライン研修会」を、学校教育課と共催で実施した。</p> <p>・「学校ICT活用推進事業」</p> <p>(質問)</p> <p>ICTが生かせる教科は国語、算数・数学のほかにも英語のネイティブの発音や理科での、なかなか見ることができない自然現象、地理や音楽、美術など、他にもたくさんあると思う。幅広くさまざまな教科で生かしてほしい。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>デジタル教科書など多くの教育コンテンツには、授業での</p>
--	--	--

		<p>利用価値のあるものがたくさんある。校内研修や教員向け I C T 研修会を実施するなどし、様々な教科において教員一人一人が端末や教育ソフトを幅広く活用できるように努めていく。</p> <p>(質問)</p> <p>成果指標 79%とありますが、現在 I C T を児童生徒に活用させることができる教員の割合は高くなっているのか。</p> <p>G I G A スクールが始まっているのに 100%にしなくて良いのか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>校内研修等を通じて、授業で活用している教職員の数は増加している。校内研修や教員向け I C T 研修会を実施するなど、すべての教員が端末や教育ソフトを幅広く活用できるように努めていく。</p> <p>・「特別支援教育推進事業の充実」</p> <p>(質問)</p> <p>発達障害を含む教育上特別な配慮を必要とする児童生徒は年々増えている。きらきらサポーターの人員は足りているのか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>現状では、きらきらサポーターの必要人数を確保している。今後も、児童生徒一人一人の教育的ニーズを実現できるよう、必要な人数と適切な人員確保に努めていく。</p> <p>(質問)</p> <p>特別支援教育を必要とする児童生徒数は増加傾向だが、きらきらサポーターの配置が 32 人と毎年同じなのはなぜか。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>該当の児童生徒の状況や学校の要望、また、きらきらサポーターの応募状況により配置数を決定している。今後も適切に配置していきたい。</p> <p>・「学校図書の実、図書館資料の整備・充実、子供読書活動推進計画に基づく事業の実施」</p> <p>(質問)</p> <p>「読書感想文の書き方講座」みたいな指導があると良いと思う。</p> <p>学童の子供たちに聞くと、書き方を習っていないのに夏休み</p>
--	--	--

		<p>に宿題が出るので、保護者が手伝っている話を聞く。書き方が分かると、読書への興味も湧きやすくなるのではないかと思います。</p> <p>(回答) 教育指導課</p> <p>学校では、国語の授業で「読書」や「作文」について指導をしている。夏期休業中、読書感想文を課題で出すときには書き方のポイントなど児童生徒に指導している。今後も、読書への興味・関心が高まるよう、指導を続けていく。</p> <p>・「行田市スクールソーシャルワーカーの配置・活用」</p> <p>(質問)</p> <p>県費スクールソーシャルワーカーと市費スクールソーシャルワーカーの連携について、配置や人数体制はどのようなか。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>県費と市費のスクールソーシャルワーカー1名ずつの計2名を配置している。令和3年度は2人が12校ずつ分担し、情報収集や情報提供、相談や環境調整にあたっている。また、月に1回以上連絡会をもち、スクールソーシャルワーカー同士が連携して不登校等の改善に取り組んだ。</p> <p>・「教育研修センター適応指導教室「ウイズ」の充実」</p> <p>(質問)</p> <p>学校への復帰率97%は素晴らしい成果だと思う。どのような指導がよかったのか。</p> <p>また、それを予防に役立てられるよう他の教員にも、情報提供や指導をお願いする。</p> <p>(回答) 教育支援センター</p> <p>復帰率が上がった原因は2つ考えられる。一つは、児童生徒に対してすぐに教室復帰を求めるのではなく、あいさつ登校や放課後登校などの選択肢を示し、緩やかに学校復帰を目指すなど、子供の状況に応じた対応をとってくれる学校が増えてきたこと。もう一つは、中学3年生が20名と多く、高校進学を通して学校復帰を図れたことである。今後も、学校と連携して不登校の改善に取り組んでいく。</p> <p>・「いじめ問題対策連絡協議会の充実」</p> <p>(質問)</p>
--	--	---

		<p>まだ一度も協議会を開催していないようである。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議を中止しているようだが、オンライン会議などで情報交換などできたのではないか。</p> <p>(回答) 教育指導課      今後は状況に応じてオンラインによる情報交換についても検討していく。</p> <p>・「放課後子ども教室事業の推進」</p> <p>(質問)      各教室のコーディネーター、地域の指導スタッフ等の学校間の情報交換などは行われているのか。      また、スタッフの高齢化に伴う人員確保については、どのような方法を検討しているのか。</p> <p>(回答) 生涯学習スポーツ課      各教室のコーディネーター、小学校校長、PTA、自治会各代表者、学識経験者で組織した運営委員会を年2回開催し、各教室の計画や取組状況を共有し、情報交換を行って各教室の取組に活かしている。また、必要に応じて随時情報交換を行っている。      スタッフの高齢化に伴う人員確保については、チラシ等を活用した募集の広報活動を行っていきたいと考えている。</p> <p>・「若年層向け講座の充実」</p> <p>(質問)      若年層向けではどのようなテーマを想定しているか。</p> <p>(回答) 中央公民館      テーマについては現在情報を収集しているところであるが、今年度は、若年層が興味を持っていると思われる動画編集講座、ドローン講座の実施を予定している。      今後において、若年層が興味があること、受講しやすい時間帯や曜日など、情報収集し、講座を企画していきたい。</p> <p>(質問)      若年層向けの講座では、どのような講座を開設したか。近隣市の事例を参考にするなど、情報収集をお願いする。      また、行田ならではの講座等をより増やすことも市民の参加や利用者が増え、充実できるものと考え。</p>
--	--	---

		<p>(回答) 中央公民館</p> <p>令和3年度は、ドローン、フィットネスダンス、筆ペン美文字の講座を開設した。</p> <p>テーマについては、現在情報を収集しているところだが、今年度は、若年層が興味を持っていると思われる、動画編集講座、ドローン講座の実施を予定している。</p> <p>今後において、若年層が興味のあること、受講しやすい時間帯や曜日など、情報収集し講座を企画していきたい。</p> <p>(質問)</p> <p>新設した若年層向け講座にはどのような講座があるのか。</p> <p>(回答) 中央公民館</p> <p>令和3年度は、ドローン、フィットネスダンス、筆ペン美文字の講座を開設した。</p> <p>今年度は、若年層が興味を持っていると思われる、動画編集講座、ドローン講座の実施を予定している。</p> <p>・「行田市まちづくり出前講座の充実」</p> <p>(質問)</p> <p>公民館で行われる講座の中に出前講座もありますか。</p> <p>(回答) 生涯学習スポーツ課</p> <p>現在、公民館が計画する講座の中で、出前講座は行っていない。</p> <p>しかし、市内に在住、在勤、又は在学する10人以上の者で構成された市民団体からの要望があった際は、市職員等が公民館へ出向いて講座を行っている。</p> <p>・「図書館資料の整備・充実」</p> <p>(質問)</p> <p>電子書籍949コンテンツは図書の数に含まれるか。別ですか。</p> <p>(回答) 図書館</p> <p>電子書籍949コンテンツと図書の冊数30万8,894冊は別である。</p> <p>・「ラジオ体操の普及、啓発」</p> <p>(質問)</p> <p>小学校夏期休業中の奉仕活動日を利用するだけでなく、子</p>
--	--	---

		<p>供たちは一人一台タブレットを持っているので、それを活用して、夏期休業日は自宅でも家族と一緒にできないか。</p> <p>(回答) 生涯学習スポーツ課</p> <p>教育委員会ではラジオ体操動画を市HPに掲載するなど、普及啓発に努めている。</p> <p>今後はタブレットや携帯、パソコン等を使っての普及啓発方法の周知を検討していきたい。</p> <p>(質問)</p> <p>夏期休業中のラジオ体操は、昔の暑さと違い出来かねると思う。そのため、普段の学校の時間内で、地域創生の方たちを巻き込んで一緒にラジオ体操すればいいのではないかと思う。</p> <p>(回答) 生涯学習スポーツ課</p> <p>現在、小学校夏期休業中の奉仕活動日を利用し、大人、子供合わせてラジオ体操の普及、啓発を行っている。今後は、様々な機会にラジオ体操を取り入れていただけるよう、普及啓発方法を検討していきたい。</p> <p>(質問)</p> <p>成果指標(3)大会等でラジオ体操実施・支援した回数4回とあるが、どのようなスポーツ大会か。</p> <p>(回答) 生涯学習スポーツ課</p> <p>ターゲットバードゴルフ大会、出前講座ボッチャ教室、グラウンドゴルフ大会市長杯、グラウンドゴルフ大会女性大会である。</p> <p>以上、関係資料の説明とする。</p> <p>この後、委員から意見があれば、報告書を修正し、改めて配付させていただき、最終的に市議会あてに提出し、公表する。</p> <p>教育長</p> <p>何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員</p> <p>ウイズから学校復帰率が97%とあり、中学3年生20名が高校進学を通して、学校復帰が図られたとあるが、学校環境が変わる高校進学がターニングポイントと考えてよいか。</p>
--	--	---

	<p>議案第75号 行田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p>	<p>教育支援センター所長 不登校の子供にとって、同級生の目はプレッシャーである。そのため、新しい学校の環境でリスタートすることは、元の学校に通うよりは壁が低いのではないかと考えている。</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育指導課長 本案は、行田市いじめ問題対策連絡協議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。 委員については、関係機関や各団体から推薦をいただいている方々である。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員 幅広い選出でよいが、専門性の高い医師は選出されないのか。</p> <p>教育指導課長 この委員会では選出していないが、重大事態を調査するいじめ問題調査委員会で選出している。</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p>
	<p>議案第76号 行田市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育指導課長 本案は、行田市いじめ問題調査委員会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。 いじめの重大事態が発生した際、調査審議する委員会で弁護士、医師、学識経験者、社会福祉士や臨床心理士などから選出している。なお、2号委員の医師については、後程、推薦いただく予定である。</p>

	<p>議案第78号 行田市史編さん専門部会設置規則を廃止する規則について</p>	<p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長 本案は、平成11年に本市が市制施行50周年を迎えるにあたり、昭和38年から昭和39年にかけて刊行された行田市史の続編を編さん・刊行するため、専門部会を設置したが、昨年度末に行田市史の編さんが完了し、制定目的を達成したことから、本規則を廃止しようとするものである。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長 本案は、行田市文化財保存活用地域計画協議会委員について、設置要綱第3条の規定で、20名以内の委員をもって協議会を組織すると定められており、今回協議会を立ち上げるに当たり17名の委員を委嘱するものである。</p> <p>第1号委員の栗岡氏は、埼玉県立さきたま史跡の博物館長である。第2号委員の板垣氏は、文化財保護審議会から、若松氏は郷土博物館協議会から推薦を受けた方である。清水氏は郷土博物館友の会会長である。第3号委員の小島氏は成城大学教授、田村氏は埼玉大学名誉教授、宮本氏はものづくり大学参事である。第4号委員の小巻氏は、行田商工会議所専務理事、山本氏は南河原商工会会長、第5号委員の富山氏は、行田おもてなし観光局事務局長である。第6号委員の寺田氏は都市計画課長、森原氏は環境経済部次長兼商工観光課長、石崎氏は教育部次長兼教育指導課長、鈴木紀三雄氏は郷土博物館館長である。第7号委員の坂西氏は公募の市民、第8号委員の大和田氏は自治会連</p>
	<p>議案第79号 行田市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について</p>	<p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長 本案は、行田市文化財保存活用地域計画協議会委員について、設置要綱第3条の規定で、20名以内の委員をもって協議会を組織すると定められており、今回協議会を立ち上げるに当たり17名の委員を委嘱するものである。</p> <p>第1号委員の栗岡氏は、埼玉県立さきたま史跡の博物館長である。第2号委員の板垣氏は、文化財保護審議会から、若松氏は郷土博物館協議会から推薦を受けた方である。清水氏は郷土博物館友の会会長である。第3号委員の小島氏は成城大学教授、田村氏は埼玉大学名誉教授、宮本氏はものづくり大学参事である。第4号委員の小巻氏は、行田商工会議所専務理事、山本氏は南河原商工会会長、第5号委員の富山氏は、行田おもてなし観光局事務局長である。第6号委員の寺田氏は都市計画課長、森原氏は環境経済部次長兼商工観光課長、石崎氏は教育部次長兼教育指導課長、鈴木紀三雄氏は郷土博物館館長である。第7号委員の坂西氏は公募の市民、第8号委員の大和田氏は自治会連</p>

	<p>議案第80号 行田市立図書館協議会委員 の委嘱について</p>	<p>合会から推薦を受けた方である。</p> <p>委員には、行田市文化財保存活用地域計画の作成について協議いただく予定である。</p> <p>なお、任期は、令和4年9月1日から令和6年8月31日までの2年間である。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員 具体的にどのような協議が行われるのか。</p> <p>文化財保護課長 再来年度、文化庁の認定を目指し、文化財の保存や活用について、中長期的に取り組むマスタープラン、短期的なアクションプランからなる行田市文化財保存活用地域計画の策定について協議する協議会である。</p> <p>具体的には、本市の文化財を地域社会総がかりで、今後どう次世代へ継承していくか。寺や神社に多くある文化財を檀家や氏子だけでなく、新しい形で継承していくための計画を協議するものである</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>図書館長 本協議会は、図書館法第14条に基づき設置され、委員は、学校教育及び社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命するものである。また、定数は10名以内、任期は2年である。</p> <p>9名の委員については、6月定例会で承認いただいております、今回は新たに社会教育委員会議から推薦された1名を委嘱しようとするものである。</p> <p>なお、任期は令和4年8月18日から令和6年8月17日までの2年間である。</p>
--	--	--

	<p>議案第 8 1 号 行田市郷土博物館協議会委員の委嘱について</p>	<p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>郷土博物館館長 本協議会は、委員定数 10 名以内となっており、7 月定例会で 9 名の委員について承認をいただいている。 今回は新たに社会教育委員会議から推薦された 1 名を委嘱しようとするものである。 なお、任期は令和 4 年 8 月 18 日から令和 6 年 8 月 17 日までの 2 年間である。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長 本案は、9 月定例市議会に補正予算を上程するため、教育委員会へ諮るものである。 歳出については、10 款教育費で 9,355 万 8,000 円の追加である。 今回の補正予算は、国際情勢の影響などにより、液化天然ガスや原油などのエネルギー価格が上昇し、電気料金やガス料金等が高騰したことに伴う施設等に係る光熱費の追加措置に関するもの及び当初予算計上後の事情変更に伴う追加措置に関するものである。 まず、光熱費の追加措置について、1 項 3 目教育支援センター費は、旧星宮小学校の電気料を、2 項 1 目小学校管理費及び 3 項 1 目中学校管理費は、小学校と中学校の電気料及びガス料を追加措置するものである。 4 項 1 目社会教育総務費のうち、◎生涯学習スポーツ課関係</p>
	<p>議案第 7 3 号 令和 4 年度一般会計教育費補正予算について</p>	<p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長 本案は、9 月定例市議会に補正予算を上程するため、教育委員会へ諮るものである。 歳出については、10 款教育費で 9,355 万 8,000 円の追加である。 今回の補正予算は、国際情勢の影響などにより、液化天然ガスや原油などのエネルギー価格が上昇し、電気料金やガス料金等が高騰したことに伴う施設等に係る光熱費の追加措置に関するもの及び当初予算計上後の事情変更に伴う追加措置に関するものである。 まず、光熱費の追加措置について、1 項 3 目教育支援センター費は、旧星宮小学校の電気料を、2 項 1 目小学校管理費及び 3 項 1 目中学校管理費は、小学校と中学校の電気料及びガス料を追加措置するものである。 4 項 1 目社会教育総務費のうち、◎生涯学習スポーツ課関係</p>

		<p>経費は、旧北河原小学校及び旧須加小学校の電気料を追加措置するものである。</p> <p>同じく、社会教育総務費のうち、◎産業文化会館管理費は、産業文化会館の電気料に係る不足分として、指定管理料を追加措置するものである。</p> <p>次に、4項4目教育文化センター費は、教育文化センターホール、中央公民館、図書館及び視聴覚ライブラリー並びに教育支援センターで構成される教育文化センターに係る電気料及びガス料を追加措置するものである。</p> <p>5目公民館費は、地域公民館16館の電気料及びガス料を、8目博物館費は、郷土博物館の電気料を追加措置するものである。</p> <p>5項2目体育施設費は、総合体育館、市民プール、門井球場及び急速充電器設備の電気料に係る不足分として、指定管理料を追加措置するものである。</p> <p>3目学校給食センター費は、学校給食センターの燃料費及び電気料を追加措置するものである。</p> <p>次に、当初予算計上後の事情変更に伴う追加措置について、4項2目文化財保護費は、大字長野地内における分譲住宅の建設や若小玉地区産業団地整備事業の実施に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うほか、発掘調査が完了した受託事業について、出土品の整理作業を早期に完了する必要があることから、1節会計年度任用職員報酬から13節器具・機材借上料までの経費について、所要額を計上するものである。</p> <p>歳入について、19款繰越金8,829万8,000円は、補正財源として、前年度繰越金を措置するものである。</p> <p>20款諸収入、文化財発掘調査事務委託金526万円は、埋蔵文化財の発掘調査に対するもので、歳出計上額の全額を見込むものである。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員 電気、ガスを契約している会社はどこか。</p> <p>教育総務課長</p>
--	--	--

	<p>議案第 77 号 行田市史編さん委員会条例 を廃止する条例について</p>	<p>施設により異なるが、市内施設の多くが、電気はミツウロコ、ガスは東京ガスである。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>文化財保護課長</p> <p>本案は、平成 11 年に本市が市制施行 50 周年を迎えるにあたり、昭和 38 年から昭和 39 年にかけて刊行された行田市史の続編を編さん・刊行するため、委員会を設置したが、昨年度末に行田市史の編さんが完了し、制定目的を達成したことから、本条例を廃止しようとするものである。</p> <p>なお、委員会の設置は条例、専門部会の設置は教育委員会規則によるものである。</p> <p>教育長</p> <p>何か意見等はあるか。</p> <p>鹿山委員</p> <p>長い期間をかけ、行田市にとって貴重な資料編 8 巻と普及版 2 巻をまとめていただいた。関係した方々にお礼を願います。</p> <p>文化財保護課長</p> <p>承知した。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長</p> <p>以上で本日の定例会を閉会とする。</p>
--	--	---

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

- 1 次回定例会開催予定日 令和4年9月22日(木) 午後2時00分  
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員

委 員